

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公開番号】特開2012-51442(P2012-51442A)

【公開日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-011

【出願番号】特願2010-194759(P2010-194759)

【国際特許分類】

B 6 0 T 1/06 (2006.01)

B 6 6 F 9/075 (2006.01)

【F I】

B 6 0 T 1/06 E

B 6 6 F 9/075 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月22日(2012.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動力源によって回転駆動される第1入力軸と、前記第1入力軸の回転によって回転する第2入力軸と、前記第2入力軸からアクスルに至る間に構成した差動機構とを備え、動力源の動力を前記第1入力軸、前記第2入力軸及び差動機構を介して前記アクスルに伝達することにより走行するフォークリフトにおいて、

前記第2入力軸に対して平行、かつ前記第1入力軸に対してオフセットした位置にアイドル軸を配設するとともに、前記第2入力軸と前記アイドル軸との間にギヤの噛合による動力伝達機構を介在させ、さらに前記アイドル軸に駐車ブレーキユニットを構成したことを特徴とするフォークリフト。

【請求項2】

前記動力伝達機構は、前記第2入力軸にトランスファギヤを設ける一方、前記アイドル軸にフリクションギヤ機構を備えたアイドル入力ギヤを設け、前記アイドル入力ギヤをトランスファギヤに歯合させたことを特徴とする請求項1に記載のフォークリフト。

【請求項3】

前記動力伝達機構は、前記第2入力軸の回転を増速して前記アイドル軸に伝達するものであることを特徴とする請求項1または請求項2に記載のフォークリフト。

【請求項4】

前記第1入力軸に入力ギヤを設け、前記入力ギヤを前記トランスファギヤに歯合させたことを特徴とする請求項2に記載のフォークリフト。

【請求項5】

前記第2入力軸の高さ以下となる位置に前記アイドル軸を配設したことを特徴とする請求項1～請求項4のいずれか一つに記載のフォークリフト。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するため、本発明に係るフォークリフトは、動力源によって回転駆動される第1入力軸と、前記第1入力軸の回転によって回転する第2入力軸と、前記第2入力軸からアクスルに至る間に構成した差動機構とを備え、動力源の動力を前記第1入力軸、前記第2入力軸及び差動機構を介して前記アクスルに伝達することにより走行するフォークリフトにおいて、前記第2入力軸に対して平行、かつ前記第1入力軸に対してオフセットした位置にアイドル軸を配設するとともに、前記第2入力軸と前記アイドル軸との間にギヤの噛合による動力伝達機構を介在させ、さらに前記アイドル軸に駐車ブレーキユニットを構成したことを特徴とする。